

---

# OB 通信

2010 年 No.3  
(2010.7)

---

## 北海道大学対東北大学定期戦

- ・男子 10 連勝・通算成績 41 勝 29 敗 1 分
  - ・岩崎辰哉(4)が男子 110mH で 14"97 の部記録樹立、大会記録樹立
  - ・男子やり投で杉本(3)が、女子 3000m で及川(2)がそれぞれ大会記録樹立
- 

## 三秀会東海支部からお知らせ

- ・七大戦 OB・OG 懇談会のお知らせ
- 

- ・第 32 回北日本学生陸上競技対校選手権大会 2~3 ページ
- ・2010 日本学生陸上競技個人選手権 4 ページ
- ・北海道大学対東北大学定期戦 5~9 ページ
- ・全日本大学駅伝・女子駅伝東北地区予選の抱負 10 ページ
- ・七大戦の展望 11~13 ページ
- ・自己記録更新者一覧 13~14 ページ
- ・三秀会東海支部からお知らせ 15 ページ
- ・今後の予定 16 ページ
- ・編集後記 16 ページ

盛夏の候、会員の皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。

今号では、主に第 71 回北海道大学対東北大学陸上競技定期戦兼第 23 回北海道大学対東北大学女子陸上競技定期戦の結果と第 61 回全国七大学陸上競技大会兼第 21 回全国七大学女子陸上競技大会の展望をお伝えします。

### # 第 32 回北日本学生陸上競技対校選手権大会(6/12~13) 於 円山総合運動公園

6月12から13日に円山総合運動公園で北日本学生陸上競技対校選手権大会が行われました。北海道での開催ということもあり、一部の部員のみのお出場となりました。

#### ● 男子 100m 予選

組	レーン	氏名(学年)	記録	順位
2	8	中野 一誠(M2)	11"73(-1.7)	7 着
3	8	鈴木 貴幸(4)	11"39(-1.2)	6 着
7	7	田中 裕志(M2)	DNS	

#### ● 男子 200m 予選

組	レーン	氏名(学年)	記録	順位
3	3	田中 裕志(M2)	DNS	
4	7	鈴木 貴幸(4)	23"12(+2.3)	3 着
7	7	中野 一誠(M2)	23"29(+1.0)	4 着

#### ● 男子 200m 準決

組	レーン	氏名(学年)	記録	順位
1	8	鈴木 貴幸(4)	23"34(+2.0)	7 着

#### ● 男子 400m 予選

組	レーン	氏名(学年)	記録	順位
4	6	田中 裕志(M2)	51"49	1 着

#### ● 男子 400m 決勝

順位	レーン	氏名(学年)	記録
8 位	2	田中 裕志(M2)	52"53

#### ● 男子 1500m 予選

組	順位	氏名(学年)	記録
1	2 着	川口 亮平(D1)	4'12"82

● 男子 1500m 決勝

順位	氏名(学年)	記録
11 位	川口 亮平(D1)	4'13"57

● 男子 5000m 決勝

順位	氏名(学年)	記録
14 位	川口 亮平(D1)	16'11"06

● 男子 110mH 予選

組	レーン	氏名(学年)	記録	順位
1	2	永井 雅人(D3)	16"45(-1.2)	5 着

● 男子 400mH 予選

組	レーン	氏名(学年)	記録	順位
4	7	田中 裕志(M2)	DNS	

● 男子 4×100mR 予選

組	レーン	氏名(学年)	記録	順位
1	7	永井(D3)-田中(M2)-中野(M2)-鈴木(4)	43"46	6 着

● 男子 4×400mR 予選

組	レーン	氏名(学年)	記録	順位
2	8	田中(M2)-鈴木(4)-中野(M2)-永井(D3)	3'31"12	6 着

● 男子走高跳

順位	氏名(学年)	記録
11 位	永井 雅人(D3)	1m75

● 男子走幅跳

順位	氏名(学年)	記録
21 位	永井 雅人(D3)	5m98(-0.4)

● 男子三段跳

順位	氏名(学年)	記録
16 位	永井 雅人(D3)	13m01(+1.8)

## #2010 日本学生陸上競技個人選手権(6/18～20) 於 平塚市総合公園平塚競技場

6月18日から20日に平塚市総合公園平塚競技場で日本学生陸上競技個人選手権が行われました。我が部からは杉本(3)が男子やり投に出場しました。

### ● 男子やり投

順位	氏名(学年)	記録
12位	杉本 和志(3)	64m57

### ～個人選手権に出場して～

杉本 和志

今回の個人選手権が大学生になってから初の全国大会でした。高校生の時以来であり、久しぶりの全国の舞台に期待を膨らませ競技に挑みました。同期の選手など知り合いは多少なり居たため、緊張はあまりせず競技に集中することができました。

競技本番、ピリピリとした雰囲気の中ではありましたが、試技順が1番最初であった私はプレッシャーもなく1投目から全力で投擲を行うことができました。しかし、風が強かったためにやりは押し戻され、なかなか良い投げができませんでした。3投目で何とか修正し64m57を出すことができましたが、決勝に進出することはできませんでした。あわよくば67m以上を投げ、全カレの標準をと考えていただけに悔しい結果ではありました。

今回この大会に出場して、あと2mくらいで決勝通過ラインであったということもあり、私でも全国に通用するのではないかと自信をもつことができました。3投目の投げも納得のいく投げではなかったので、まだ記録の向上が狙えると感じました。今後はこのような大会に多くの部員が参加出来たら良いと思っています。良い経験になりますし、やはり部から一人の参加は寂しいということもありますので。

## #北海道大学対東北大学陸上競技定期戦(6/26) 於 厚別公園競技場

今年は日差しが強く、30℃近い気温の中で行われました。途中で体調を崩す選手がいるのではという不安はありましたが、何事もなく終えることができました。男子は10連勝。女子は惜しくも2点差で敗れましたが、奮闘しました。男子110mHで岩崎(4)が部記録・大会記録樹立。さらに男子やり投で杉本(3)、女子3000mで及川(2)が大会記録樹立。

### トラック

#### 男子 100m

- 1位 鈴木 貴幸(4) 11"41(+0.1)  
5位 畠山 真慈(2) 11"86  
6位 新沼 啓(4) 12"54

スタートは北大の選手に遅れをとった。

鈴木は中盤から加速し、前の選手との差を縮め最後には1位でフィニッシュ。

畠山と新沼は挽回叶わず、そのままフィニッシュ。

#### 女子 100m

- 3位 下島 千歩(1) 13"41(+0.1)  
4位 中山 なつみ(1) 13"58  
5位 房内 まどか(2) 13"81

スタートは房内、下島、中山のいずれも遅れてしまった。下島と中山は何とか北大の選手を1人捕らえ3、4位でフィニッシュ。房内は挽回叶わず5位。

#### 男子 200m

- 2位 高林 佑輔(3) 22"54(+2.1)  
4位 鈴木 貴幸(4) 22"86  
DNS 鈴木 一輝(3)

2人ともスタートは良い反応だった。

高林はそのままスピードに乗り、外側の選手とゴールまで競り合い、惜しくも競り負けて2位。

鈴木は身体が起きてしまったため上手くスピードに乗ることができなかった。カーブで内側の選手につかまり4位。

#### 男子 400m

- 2位 高林 佑輔(3) 49"68  
3位 遠藤 智之(4) 50"61  
6位 高橋 純(2) 52"99

全体的にまずまずのスタート。

高林はバックストレートで外の選手との差をつめて行き、第3コーナー付近で完全に捕らえた。競り合う形でラスト100m。惜しくも競り負け、2位でフィニッシュ。

遠藤は前半好調に見えたが、徐々に内側の選手に追いつかれた。しかしラストは粘りの走りで高林に続いて3位でゴール。

高橋は序盤から置いていかれ、苦しい展開。何とか挽回しようと走るも6位。

#### 女子 400m

- 1位 下島 千歩(1) 61"96  
4位 房内 まどか(2) 64"68

スタートではほぼ横一線となった。

バックストレートで北大生が抜け出し、下島は負けまいと加速を始めた。下島と北大生2人の激しい競り合いとなり、ラスト100mで下島が少し前に入るも北大生とほぼ同時にフィニッシュ。判定の結果、1位を勝ち取った。

房内はバックストレートで徐々に失速し、苦しい展開。ラスト100mで懸命に追いつけるも4位と、悔しい結果となった。

### 男子 800m

- 1位 本間 亮太(4) 1'58"12
- 2位 大野 良輔(2) 1'58"28
- 3位 辻川 優祐(2) 1'58"35

序盤は辻川が先頭に立ち、レースを引っ張った。大野と本間は後方に位置した。レースが動いたのはラスト 300m。デッドヒートを繰り広げ、辻川、本間、大野の順に前に出た。ラストは本間が追い上げ 1 位。大野、辻川が続いた。

### 女子 800m

- 1位 及川 まりや(2) 2'26"59
- 3位 荒木 佳那子(3) 2'43"42
- 4位 房内 まどか(2) 2'44"27

序盤から及川が飛び出し後続との差を広げた。1 周目を 72 秒で通過し、独走でゴール。荒木は北大の選手と競り合いながらレースを進めたが惜しくも 3 位。房内は荒木に続いて 4 位。

### 男子 1500m

- 1位 尾形 洋平(3) 4'08"49
- 2位 三上 和樹(1) 4'09"80
- 5位 荒川 和哉(1) 4'19"90

機械の不調によりスタートが 5 度もやり直されが、集中力を切らさず競技に挑んだ。スタートから荒川が飛び出し、三上は中盤、尾形は後方につけた。500m 付近で荒川が遅れ始めた。尾形と三上は順調にレースを進め、800m 過ぎに尾形が前に出た。ラストで三上が 2 番手に付け尾形に迫ったが、尾形が意地の走りで 1 位。続いて三上が 2 位。荒川は苦しい走りで 5 位。

### 女子 3000m

- 1位 及川 まりや(2) 10'11"56
- 2位 千葉 絵里子(4) 10'57"19
- 4位 鈴木 はるか(2) 11'26"63

序盤から及川が抜け出し、独走態勢に。その後も危なげなく 1 位でゴール。千葉と鈴木は団子状態でレースを進めた。鈴木は 800m 付近で後退。千葉は順調に走り、独走 2 位でゴール。少し遅れて鈴木は粘りの走りで 4 位でフィニッシュ。

### 男子 5000m

- 1位 尾形 翔平(2) 15'54"34
- 2位 早坂 達也(4) 15'56"35
- 3位 杉山 祥太郎(2) 16'07"23

学部生トップの早坂と尾形、記録の更新を続ける杉山が会場。

尾形と早坂が先頭でレースを進めた。徐々に後続を引き離し、尾形と早坂の争いに。杉山は 3 番手を北大生と争う形でレースを進めた。3000m で尾形のペースが落ち始めるが、順位は変わらずレースは進んだ。ラスト 600m で早坂がトップに立った。ラスト 1 周で尾形がスパートをかけて逆転し 1 位。早坂も粘ったが 2 位。杉山もスパートして北大生を引き離し 3 位でフィニッシュ。

### 男子 110mH

- 1位 岩崎 辰哉(4) 14"97(+1.7)
- 2位 一ノ倉 聖(4) 15"57
- 4位 渋谷 知暉(2) 15"90

全体的にスタートはまずまずであった。

岩崎はスタート直後から飛び出し、後続との差を広げていった。安定した走りで堂々の 1 位。大会新、部記録であった。

一ノ倉も安定した走りを見せ、岩崎に続き 2 位でフィニッシュ。

渋谷は 2 台目のハードルでつまずき、バランスを崩してしまった。後半に何とか持ち直したが、挽回は叶わなかった。

### 男子 400mH

2位 岩崎 辰哉(4) 57"48

4位 一ノ倉 聖(4) 59"42

5位 藤井 翼(2) 61"03

スタートはまずまず。一ノ倉と藤井は歩数が合わなかったのか1台目の入りが遅れた。岩崎は前の選手との差を縮めることはできなかったが、スピードに乗りリズムも良かった。ラストは3者とも粘りの走りを見せた。

### 男子 3000mSC

1位 尾形 翔平(2) 9'53"64

2位 石代 剛之(2) 10'08"73

4位 箭内 正輝(4) 10'19"83

経験豊富な箭内と尾形、成長著しい石代が出場した。序盤から尾形と箭内が先頭に立ち、積極的にレースを引っ張った。石代も中程で続いた。1000mを越えた辺りから尾形と石代が前に出た。箭内は徐々に苦しくなり始め3位争い。2000mで尾形が独走態勢に入り1位でフィニッシュ。石代も続いて2位。箭内は惜しくも4位となった。

### 男子 4×100mR

2位 43"46

岡崎(1)-高林(3)-岩崎(4)-鈴木貴(4)

岡崎は反応良いスタートで善戦し、高林へ。少しバトンがつまり、内側の北大に差を縮められた。高林は何とか挽回しようとしたが、岩崎に渡った時点で北大につかまった。岩崎も必死に追い上げ、スムーズに鈴木へバトンをつないだが、差を縮めることができず2位でフィニッシュ。

### 女子 4×100mR

2位 54"00

下島(1)-中山(1)-星(1)-房内(2)

下島はまずまずのスタート。好走したが、

2走の中山へのバトンパスがつまり、北大に差を縮められた。3走の星に渡ったときには完全に抜かれてしまった。ラストの房内も必死に食いついたが、追い上げることはできず2位。

### 男子 4×400mR

2位 3'24"35

岡崎(1)-遠藤(4)-鈴木貴(4)-高林(3)

1走の岡崎はぐんぐん加速し、外側の北大の選手をとらえた。ラストも減速することなく差を広げ、遠藤へバトンが渡った。遠藤は第3コーナーまでは差を保っていたが、疲労のためか徐々に減速し、差を縮められてしまった。3走の鈴木は本調子でなかったため上手くスピードにのれず、走り始め30mで早くも北大の選手に抜かれた。その後、必死に追いかけるも挽回叶わず、49秒台をマークしている高林へと繋いだ。高林は前半から攻めるも差を縮めることができず2位でフィニッシュ。

### フィールド

### 男子走高跳

3位 渋谷 知暉(2) 1m70

5位 藤井 翼(2) 1m60

DNS 奥 裕之(1)

渋谷は1m65から挑戦し、順調に記録を残していった。1m70も1回目で跳び、更に記録を伸ばせると思われたが、1m75を越えることができず3位。

藤井は1m60からの挑戦。1、2回目はリズムが合わず高さが出なかった。しかし3回目には調整しクリア。その後1m65は越えることができず5位。

### 女子走高跳

3位 下島 千歩(1) 1m40

4位 星 麻沙美(2) 1m35

下島は 1m25 から跳躍を始め、順調に記録を伸ばしていった。1m45 に挑戦したが、惜しくも越えることができず 3 位。

星も 1m25 から始めた。ノーミスで 1m35 まで跳んだが 1m40 は跳べず 4 位

### 男子棒高跳

1位 高橋 理寛(2) 4m00

2位 佐藤 裕貴(1) 3m60

3位 藤井 翼(2) 3m40

高橋は 4m00 からの挑戦。1 回目は失敗するも 2 回目で成功。この時点で 1 位は決まった。4m20 に挑戦したが、越えることはできなかった。

佐藤はこの大会が初陣となった。3m00 から挑戦し、順調に記録を伸ばしていった。3m60 を 3 回目に成功し、3m80 は越えられなかったが 2 位となった。

藤井は 3m20 からの挑戦。3m40 を 2 回目に成功し、まだ記録を伸ばせるかと思われたが、3m60 は越えられず 3 位。

### 男子走幅跳

1位 鈴木 一輝(3) 6m69(-0.5)

3位 岡崎 和貴(1) 6m48(-0.2)

5位 安井 令(2) 6m34(-1.1)

向かい風の中、行われた。

鈴木はなかなか思うような跳躍ができず、3 番手で決勝へと進んだ。しかし 5 跳目で記録を伸ばし逆転して 1 位。

岡崎は 1 番手で決勝に進むも逆転された。6 跳目に記録を伸ばすも逆転できず 3 位。

安井は足が合わずファールが続いた。3 跳目に記録を残し 4 番手で決勝へ。6 跳目に記録を伸ばしたが 1 つ順位を落として 5 位。

### 女子走幅跳

1位 中山 なつみ(1) 4m75(-1.4)

4位 星 麻沙美(1) 4m08(-2.0)

中山は 3 跳目に 4m75 をマークし 1 位に躍り出た。その後も安定して 4m70 前後を跳び 1 位。

星は 2 跳目で 4m を跳んだ。その後 4m を越えることはできなかったが、安定した跳躍であった。

### 男子三段跳

1位 瀧澤 翔太(4) 14m40(+3.9)

3位 岩崎 辰哉(4) 13m54(+4.7)

4位 岡崎 和貴(1) 13m44(+2.7)

強い追い風の中の跳躍となった。

瀧澤は 2 跳目で 14m の跳躍をするなど、安定感があった。5 跳目で更に記録を伸ばし 1 位。

岩崎は 1 跳目で 13m39 を跳んだ。4 跳目には更に記録を伸ばし 3 位。

岡崎は 3 跳目に 13m44 を跳んだが、その後足が合わず記録を伸ばすことができなかった。

### 男子砲丸投

1位 柳澤 邦彦(2) 11m35

4位 杉本 和志(3) 9m55

5位 藤井 翼(2) 9m27

柳澤は 3 投目で 11m35 をマーク。終始 1 位をキープしたが、12m を越えることはできなかった。

杉本は 3 投目で 9m40 を投げ、3 番手に付けたが、決勝で記録を伸ばすも逆転を許し、4 位。

藤井は棒高跳と並行で出場したため、予選は 1 投のみであった。6 投目で記録を伸ばしたが、終始順位は変わらず 5 位。

### 女子砲丸投

1位 下島 千歩(1) 7m17

4位 星 麻沙美(1) 5m95

下島は短距離選手ながら 7m を越える好記録で 1 位を勝ち取った。

星はあと少しで 6m と惜しかったが安定した投げで 4 位。

### 男子円盤投

1位 柳澤 邦彦(2) 40m05

3位 藤井 翼(2) 29m23

5位 山崎 大志(1) 28m90

柳澤は 3 投目でようやく 40m 越え。ダントツの 1 位だが円盤に伸びがなく、未だ昨シーズンの感覚は戻っていないようである。

藤井は 3 投目に自己ベストの投げを見せた。2 位とは数十センチと惜しくも 3 位。

山崎は 1 投目に自己ベスト。その後は記録を伸ばせなかった。アベレージは上がっており、この調子でレベルを上げて欲しい。

### 男子ハンマー投

1位 柳澤 邦彦(2) 29m53

3位 稲田 和明(2) 20m51

4位 杉本 和志(3) 18m00

柳澤は 2 投目に 29m53 を投げ、1 位へと躍り出た。その後は伸ばすことができなかったが、安定感があった。まだ伸びはあるので地道な練習が必要だ。

稲田は 6 投目で記録を伸ばした。徐々に安定した投げができてきているように思われるが、もう少し高さを出したいところ。

杉本は 5 投目に記録を伸ばした。まだ戦えるレベルではなく、今後に期待したい。

### 男子やり投

1位 杉本 和志(3) 60m87

2位 高橋 航(1) 48m60

3位 稲田 和明(2) 44m90

杉本は徐々に記録を伸ばし 3 投目でようやく 60m を越えた。多種目出場の疲れからかベストの投げはできなかったようだ。

高橋は 1 発が出なかった。48m 付近の投げは多く安定していたが、今後は 1 発を期待したい。

稲田は予選、思うような投擲ができなかった。5 投目に記録を伸ばしたが、今後は安定した投げを身に付けることが必要である。



北大戦終了後の全体写真

## #全日本大学駅伝・女子駅伝東北地区予選の抱負

7月18日に全日本大学駅伝・女子駅伝の東北地区予選が仙台市陸上競技場で行われます。男子にとっては、昨年に引き続き全日本大学駅伝へ出場権を獲得するための重要な大会です。また女子にとっても今年こそチームとして全日本大学女子駅伝に出場するための重要な大会になります。まだ確定ではありませんが出場メンバーを発表します。

### ● 男子 出場メンバー

斎藤 純(M2)
島田 健作(M2)
柴田 拓哉(M2)
林 亮輔(M2)
平 聖也(M1)
新田 和樹(M1)
早坂 達也(4)
尾形 翔平(2)
菅野 均(2)
石代 剛之(2)
杉山 祥太郎(2)

### ● 女子 出場メンバー

大淵 真波(M2)
永井 瑞希(M2)
千葉 絵里子(4)
佐藤 仁美(3)
及川 まりや(2)
小高 真依(2)
鈴木 はるか(2)
高木 李佳(1)

※状態を見て、菅野均(2)or 石代剛之(2)→大場直樹(4)への変更も考えています。

## 長距離 PC から抱負

### 工藤 佑馬(3)

今年も、昨年に引き続き東北地区からは2校が全日本大学駅伝へ出場できることとなります。しかし、今年の男子チームの目標は全日本大学駅伝へ出場することではありません。昨年の全日での惨敗という悔しさを踏まえ、いかに全日で自分たちの力を発揮して結果を残すかということが大切になります。そのためには、この東北地区予選を1位で通過することが重要となります。一つの時代の集大成となるだろう今年、エース格の大場(4)の出場は厳しい状況ですが、そのような中でも1位通過ということを常に意識して練習してきました。当日は、全員が1秒にこだわる姿勢で1位通過を果たしたいと思います。

また女子は今年減枠となり、全女へ出場できるのは1校のみとなります。非常に厳しい戦いとなることが予想されますが、男子同様に1秒にこだわる走りで勝負したいと思います。

## #七大学対校戦の展望

いよいよ待ちに待った七大会の季節がやってきました。今年の会場は愛知県の瑞穂公園陸上競技場です。総合優勝を目指して頑張りますので、是非応援にお越し下さい。

今年のそれぞれの種目の出場メンバー(変更の可能性あり)を発表致します。紹介文は筆者の主観ですのでご了承ください。

### ● 男子 100m

富樫宏朗(4) 鈴木貴幸(4) 伊藤亮輔(2)

自己ベストが11"1の富樫が戻ってくれば得点圏内。鈴木も最近はかなり調子が良いので期待が高まる。伊藤も本調子であれば十分得点を狙えるだろう。

### ● 男子 200m

鈴木貴幸(4) 鈴木一輝(3) 伊藤亮輔(2)

3人とも実力では22秒前半も狙えるので、自己ベストで得点することに期待したい。

### ● 男子 400m

遠藤智之(4) 高林佑輔(3) 高橋純(2)

北大戦で自己ベストを出した遠藤と高林はかなり期待できる。昨年決勝進出した高林は間違いなくトップ争いをするであろう。高橋もまだ発展途上であるので力強い走りを見せてくれるだろう。

### ● 男子 800m

本間亮太(4) 大野良輔(2) 辻川優祐(2)

昨年入賞した本間はもちろん、大野、辻川も北大戦では好調な走りを見せており、得点の期待が高まる。皆、2分を切っているので得点に絡むことは間違いない。

### ● 男子 1500m

尾形洋平(3) 荒川和哉(1) 三上和樹(1)

北大戦でかなり好調な走りを見せた尾形と三上はもちろんのこと、調子を取り戻せば好タイムの期待できる荒川も入賞できるレベルまできている。点数をとるのが難しい種目だが、何とか得点を期待したい。

### ● 男子 5000m

早坂達也(4) 尾形翔平(2) 杉山祥太郎(2)

エース大場の出場は厳しいが、尾形は15分前半の記録を持つ有力候補の選手であり、きっと結果を出すであろう。早坂も最後の七大会であるので有終の美を期待。

### ● 男子 110mH

岩崎辰哉(4) 一ノ倉聖(4) 渋谷知暉(2)

大量得点が期待できる。岩崎は間違いなく優勝候補、更に大会新にも期待。一ノ倉も昨年に続き得点するであろう。渋谷も15秒台を出しているので、表彰台独占の可能性もある。

### ● 男子 400mH

一ノ倉聖(4) 渋谷知暉(2) 藤井翼(2)

なかなか厳しいが、56秒台を出せば可能性はある。当日の頑張りに期待したい。

### ● 3000mSC

箭内正輝(4) 尾形翔平(2)

2人とも過去の七大会で入賞経験があるだけに期待が高まる。尾形はかなり上位に付けており、表彰台の可能性も。

### ● 男子 4×100mR

岩崎(4) 鈴木貴(4) 鈴木一(3) 高林(3) 伊藤(2) 岡崎(1)

表彰台はなかなか厳しい種目である。最低でも42秒台は出したいところ。上記の6人から誰を選ぶかも重要で、やはりバトンパスをいかにスムーズに行うかがカギである。今年はPCの高林を中心にバトン練習にも力を入れているため、期待が高まる。

● 男子 4×400mR

遠藤(4) 鈴木貴(4) 瀧澤(4) 鈴木一(3)  
高林(3) 岡崎(1)

北大戦でベストを出した高林、遠藤は 49 秒台で繋ぐことも可能だろう。岡崎も北大戦では既に 49 秒台で繋いでいる。この 3 名がマイルのカギになることは間違いない。最終種目であるので、是非とも優勝を勝ち取ってほしい。

● 男子走高跳

渋谷知暉(2) 藤井翼(2) 奥裕之(1)

昨年入賞した渋谷には今年も得点を期待したい。1 年生の奥は走高跳専門で、フォームなどもしっかりしているので好記録が期待できる。藤井も沢山の種目に出場であるが頑張してほしい。

● 男子棒高跳

高橋理寛(2) 藤井翼(2) 佐藤裕貴(1)

この種目は毎年高得点をとっている。昨年優勝の高橋は今シーズン未だ良い結果を出せていないが、昨年同様、調子を合わせてくれるだろう。藤井、佐藤も得点圏内の記録の持ち主であるので、今年も高得点を獲得できるだろう。

● 男子走幅跳

鈴木一輝(3) 安井令(2) 岡崎和貴(1)

鈴木は必ずや得点するであろう。昨年の七大戦では 7m を跳んでおり、今年も期待に込めてくれるだろう。安井も練習では 6m 後半を跳んでおり、一発があれば可能性はある。自己ベストが 7m を越えるルーキーの岡崎はトップ争いに参加するであろう。

● 男子三段跳

瀧澤翔太(4) 岩崎辰哉(4) 岡崎和貴(1)

3 人とも得点可能と思われる。好調の瀧澤は優勝候補。岩崎も得点圏内につけている。岡崎も徐々に調子を取り戻しつつある。

● 男子砲丸投

杉本和志(3) 柳澤邦彦(2) 藤井翼(2)

注目は柳澤であるが、今シーズンは 12m を投げていない。入賞は確実、昨年 2 位の實力者であるので優勝も可能であろう。

● 男子円盤投

柳澤邦彦(2) 藤井翼(2) 山崎大志(1)

この種目でも大活躍が期待される柳澤。今シーズンは不調だが、優勝してくれるだろう。藤井、山崎も徐々に記録を上げているので入賞の可能性は十分にある。

● 男子ハンマー投

柳澤邦彦(2) 稲田和明(2) 山崎大志(1)

得点がなかなか厳しい種目。柳澤が得点できるかどうかという位置にいるが、昨年のような大量得点は難しいか。

● 男子やり投

杉本和志(3) 稲田和明(2) 高橋航(1)

注目はやはり杉本。今シーズンは好調、かつ毎年七大戦でシーズンベストを出しているため、大会新も期待できる。ルーキーの高橋もかなり上位に位置しており、表彰台の可能性もある。稲田も今シーズンに大学ベストを出しただけに期待が高まる。

● 女子 100m

下島千歩(1) 中山なつみ(1)

2 人とも 13 秒前半の實力はある。實力を出せば十分に入賞は狙えるだろう。

● 女子 400m

房内まどか(2) 下島千歩(1)

下島は持ち記録でかなり上位にランクインしている。61 秒前半を出せば入賞は堅い。既に北大戦で 62 秒をきっている下島は表彰台の可能性も。

● 女子 800m

及川まりや(2) 小高真衣(2)

多種目で部記録保持者の及川は間違いなく優勝候補。未だ高校時代のベストは更新できないが、今シーズンは好調で七大戦で自己ベストもあり得る。

● 女子 3000m

千葉絵里子(4) 鈴木はるか(2)

今シーズンかなり好調の千葉は10分台をマークしている。この調子ならば入賞の可能性も十分ある。鈴木もメキメキと力をつけてきているので期待できる。

● 女子 4×100mR

房内(2) 下島(1) 中山(1) 星(1)

今の記録では入賞は厳しい。個々の走力

は上がってきているので、バトンパスなどのロスを少なくすることが鍵であろう。

● 女子走高跳

星麻沙美(1)

入賞には1m45を跳ぶことが必須だろう。調子が良ければ跳べない高さではないので星にも十分に入賞の可能性はある。

● 女子走幅跳

中山なつみ(1) 星麻沙美(1)

自己ベストが5mを越えている中山は間違いなく優勝候補。まだ高校時の感覚が戻っていないように思われるが、着々と記録を伸ばしており、七大戦で爆発の可能性もある。

# 自己記録更新者一覧(5/29~6/26)

男子

・ 100m

鈴木 貴幸(4)	11"39	(北日本インカレ)
中野 一誠(M2)	11"58	(仙台大記録会)
一ノ倉 聖(4)	11"67	(仙台大記録会)

・ 200m

高林 佑輔(3)	22"90	(仙台大記録会)
中野 一誠(M2)	23"24	(仙台大記録会)
鈴木 貴幸(4)	23"26	(仙台大記録会)

・ 400m

高林 佑輔(3)	49"68	(北大戦)
遠藤 智之(4)	50"61	(北大戦)
岩崎 辰哉(4)	51"51	(七十七銀行記録会)
鈴木 貴幸(4)	51"94	(七十七銀行記録会)
藤井 翼(2)	52"73	(七十七銀行記録会)
辻川 優祐(2)	53"83	(仙台大記録会)

・ 800m

大野 良輔(2)	1'58"28	(北大戦)
----------	---------	-------

・1500m

尾形 洋平(3)	4'08"49	(北大戦)
林 亮輔(M2)	4'20"62	(仙台大記録会)

・5000m

尾形 翔平(2)	15'15"57	(仙台大記録会)
石代 剛之(2)	15'35"45	(日体大記録会)
杉山 祥太郎(2)	15'41"92	(日体大記録会)

・10000m

早坂 達也(4)	32'38"72	(日体大記録会)
----------	----------	----------

・400mH

岩崎 辰哉(4)	57"48	(北大戦)
藤井 翼(2)	58"56	(仙台大記録会)

・3000mSC

石代 剛之(2)	10'08"73	(北大戦)
----------	----------	-------

・砲丸投げ

杉本 和志(3)	9m55	(北大戦)
----------	------	-------

・円盤投げ

藤井 翼(2)	29m23	(北大戦)
山崎 大志(1)	28m90	(北大戦)

## 女子

・3000m

千葉 絵里子(4)	10'57"19	(北大戦)
鈴木 はるか(2)	11'26"63	(北大戦)
佐藤 仁美(3)	11'36"34	(北大戦)

・5000m

鈴木 はるか(2)	19'28"98	(仙台大記録会)
小高 真衣(2)	20'02"12	(仙台大記録会)

## #三秀会東海支部からお知らせ

・三秀会東海支部から「七大戦OB・OG 懇談会のお知らせ」について

標記の通り七大戦OB・OG 懇親会が開催されますので、万障お繰り合わせのうえ、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 1 日時 7月31日(土)17時30分～(受付17時～)
- 2 場所 名古屋大学東山キャンパス 野依記念学术交流館  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
地下鉄名城線名古屋大学駅下車2番出口
- 3 会費 6,000円
- 4 その他 当日、開宴前に全面タータン化となりました東山グラウンドのご見学ならびに理学部内にありますノーベル賞展示室のご見学が可能です。  
(見学時間は16時から17時)
- 5 参加申込 参加希望者は、7月7日(水)までに電話またはメールにて出席の通知をお願い致します。  
連絡先 畑山峻  
電話 : (注:副務にお問い合わせ下さい。)  
メール : hata888 @ msn.com (注: @を半角@に修正して下さい。)



## #今後の予定

7月18日 全日本大学駅伝・女子駅伝東北地区予選 仙台市陸上競技場  
7月31～8月1日 七大戦 瑞穂公園陸上競技場

## #編集後記

まず、副務からお願いがあります。住所などに変更がございましたら、副務までご連絡をお願いします。

登録情報変更の連絡先

住所：〒980-0815 宮城県仙台市青葉区花壇 2-1 評定河原グラウンド内  
東北大学陸上競技部三秀会

Mail : hukumu\_tohoku\_ob2sin@yahoo.co.jp

今回は写真が少なくて申し訳ありません。今年も北大戦では投擲全種目に出場していたため写真をとることができませんでした。次回はできるだけ写真も載せられるようにしたいと思います。

今回のOB通信の作成はとても大変でした。北海道から帰ってきてからOB通信の完成までは、ほぼ毎日2時間睡眠をとれば良い方でした。さすがにふらつく感じも…。

さて七大戦まで1カ月を切りました。最も白熱する大会であるだけに待ち遠しい気もします。今年こそ優勝して、祝勝会を開きたいものです。新入生もだいぶ調子を取り戻してきていますから、卒業された先輩方の穴を埋めてくれることでしょう。僕自身も頑張ります。愛知県ですので交通の便は良いと思います。ぜひ応援にいらして下さい。心に響く戦いをお見せ致します。

文責 副務 杉本 和志